



経済建設委員会

活動報告

経済建設委員

家入 茂 委員

二宮利和 委員



副委員長
佐藤秀靖



委員長
天日公子



今 利一
委員

農業や観光などの経済分野と、道路や河川、建設等の分野で調査、検証し議論を重ね、「報告」としてまとめています。

令和6年度 所管事務調査(調査終了分) ①

労働力の確保について (令和5年9月～令和6年3月)

課題 「人手がたりない！」

高齢者施設が人材不足で閉鎖してしまう

農業の現場では十分な人手がいない

病院では看護師も医師も足りない

観光客が戻ってきたが、飲食店、宿泊施設では人手不足で
十分な稼働（サービス）ができない



富良野に残り就職する若者が少なく、ほぼ市外に出てしまう

調べてみたら！

○ 高校卒業後**地元に残るのは少数。**

そのうち、農業後継者が大半。

○ **副業やパート、アルバイトしたいが、時間や待遇等、条件に合った求人を探す方法は少ない。**

解決していくためには



先進事例として、江別市、恵庭市への行政視察

○ 短期的な視点「**すぐやる事**」と長期的な視点「**じっくりと取り組むこと**」に分けて、取り組むことが重要！

○ 新卒者の流出を防ぐために、学生やその保護者に富良野の仕事を知ってもらう！

富良野市の人材不足を解決に向かわせるには一

委員会からの最終報告

- 1.市内企業や団体などと情報共有及び積極的な対策の実施
- 2.求人情報の積極的な提供や発信
- 3.労働者向け住宅環境の充実、整備
- 4.農福連携の取り扱い



令和6年度 所管調査調査(調査終了分) ②

公園整備の在り方について (令和6年4月～令和6年9月)

課題 「人口減・高齢化の中の公園は？」

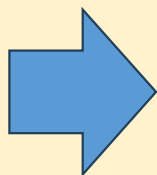


- 少子高齢化や生活の変化にともない、街の中での公園がどのように役立つものなのかを考え、新しい、公園の位置づけや整備の計画をたてて整備していく必要があるのでは？
- これからの「街づくり」を考慮した考え方が必要では？

調べてみたら！

国は

富良野市は



街づくりの方向に合わせた公園整備
「使われて活きる公園」に

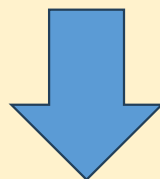


- 公園を地域の人が使いやすいようにルールを変える
地域で使いやすい公園にしていく(雪捨てなど)

- 公園の防災上の役割を考える



解決していくには



先進事例の行政視察
宮城県仙台市(公園マネジメント方針)
富山県富山市(コミュニティガーデン)

どんな街づくりをしていくのか、その中で地域ごとの公園の役割
どのように整備していくかの方針を決め計画として進めていく

所管事務調査 公園整備の在り方について

委員会からの最終報告

- 1 新しい時代に対応した公園の利活用を進める計画の策定
- 2 市民や地域の公園に対する多様なニーズの把握
- 3 公園管理や使い方などを地域で決めることができる管理団体の育成
- 4 公園を利用してもらうための情報発信



調査項目3 「空家等の対策について」

令和6年10月～令和6年12月

人が住まないまま、管理されずに放置されている空き家

景観上だけでなく、雑草や小動物による近隣への迷惑、家屋の傷みなどによる倒壊の危険

相続などで持ち主がわからないケースもあり地域内だけでは解決できないことも多い

富良野市の実態や対策、今後の方針などについて調査、報告します。

以上 経済建設委員会 報告 です。